

モチーフの系譜、作者と作品

—川合康三先生の研究をめぐって—

二〇〇二年十二月二十四日から二十七日まで、京都大学文学部・文学研究科教授川合康三先生をお迎えして、集中講義「中国古典詩の詩学」が行われた。この機会に川合先生の学問をより深く理解し、より多くを学ぶために、講義とは別に特にお願ひして、二十六日午後研究会を開催した。先生の研究領域と最も近いところを勉強している学生が、先生の研究の中からそれぞれの関心に応じてテーマを選び、自ら考察を進めた結果を発表した。それをもとに先生のご意見を伺い、みんなで討論を行ったのが、この記録である。報告を行ったのは、博士一年高芝麻子と修士二年遠藤星希、出席者は、博士五年大山潔、同三年佐野誠子、同一年田中智行、修士二年馬場昭佳、同一年荒木達雄、梶村永、千葉貴、山崎藍、学部三年鈴木弥生、研究生福田素子、お茶の水大学博士三年尾形幸子（以上すべて当時）、この他内地留学で東京大学に滞在中の佐賀大学文化教育教育部古川末喜教授が参加した。

(戸倉英美記)